

おはようございます。私は、新政会、新樹会、市民クラブ、一新会、きらめき、新風の会、の6派を代表して議案第1号 平成30年度黒部市一般会計予算について賛成の立場から討論いたします。

平成30年度の国の地方財政の現状については、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入の増加が見込まれる一方で、地方自治体は、きめ細かな行政サービスを担っていく必要があることから、依然として大幅な財源不足が生じるものと予想されています。

このような中、地方が人口減少・少子高齢化対策など、子ども・子育て支援や地方創生の重要課題に取り組みつつ、安定的に財政運営を行うことができるよう、地方交付税等の一般財源総額について、前年度を上回る額が確保されたとのことであります。

本市において、平成30年度の一般会計予算は、4月に市長選挙が行われることから、骨格予算編成となり、206億8,200万円で、前年度と比較して額で5億200万円、率にして2.5%の増。また、特別会計と企業会計を加えた予算総額では439億1,679万8千円となり、前年度と比較して0.7%の減となりました。

歳入では、税収は固定資産税の評価替えの減収、地方交付税は、合併算定替えから一般財源の減少等もあり、

また歳出では、行政サービスを安定的に供給していくためには、人口減少・少子高齢化への対応など、増大する需要に対して必要な歳出を適切に地方財政計画に計上することが必要であります。従って、計画的な繰り上げ償還を進めていく事や特別会計への繰り出し金や公共施設の長寿命化の事業費などが年々増加している状況にあり、喫緊の課題である公共施設等の老朽化対策等の事業費及びその財源についても、重点的に確保すべきであり、今まで以上に財政健全化に努めることが重要であります。

そういった状況の中、本市においては、石田漁港海岸長寿命化計画策定委託費、道路の区画整備補修工事費、道路ストック総点検（橋梁・舗装）委託費、道路ストック橋梁修繕工事費など既存設備の修繕費が計上されています。

また、まちづくりの総合指針となります第2次総合振興計画がスタートする重要な節目でもあり、宇奈月消防庁舎の整備事業費や道の駅整備事業費、鷹施・高志野統合中学校校舎改修事業など、未来に向けての事業を推進しながら「市民生活ステップアップ 新ステージ始動予算」とし、『選ばれるまち・住み続けたいまち くらべ』を実現していく施策を重点として、財源の効率的配分に努められたことは評価できるところであります。

そして、「自然と共生し、安全で安心して暮らせるまちづくり」「地域の活力を生み出す産業育成のまちづくり」「都市基盤の充実した住みやすいまちづくり」「すこやかで笑顔あふれる、ぬくもりのあるまちづくり」の4つの方針について着実な執行を期待するとことであります。

また、平成30年度は、「名水サミット in 黒部」や「ねんりんピック富山2018」の開催も予定されており、黒部宇奈月温泉駅を核とした観光振興策や立山黒部ジオパークの世界登録に向けて一層前進することが期待されます。

「選ばれるまち・住み続けたまち くろべ」を実現し、黒部の活力創出と人口維持を目指しながら、平成30年度の予算執行にあたっては全ての市民の幸せの実現のために、市民生活になお、寄り添い努める事を期待し、賛成討論といたします。